

おいしさと健康



江崎グリコ株式会社

大阪道頓堀のグリコ看板をリニューアル 現在の5代目から6代目へ ～2014年秋完成予定～

<概要>

江崎グリコ株式会社は、大阪道頓堀のグリコ看板を老朽化に伴いリニューアルします。

当社が道頓堀に大型看板を建造したのは1935年(昭和10年)。以降、道頓堀のシンボルとして親しまれており、2003年には「大阪市指定景観形成物」として認定されています。現在の看板は5代目で、1998年7月から設置しております。

今回、設置から16年が経過し老朽化が進んだため、大幅な改修工事を行うことになりました。


工事は2014年8月中旬ごろ、完成は2014年秋ごろとなる予定です。詳細は検討中ですが、決まり次第発表させていただきます。

新しく生まれ変わる6代目にご期待ください。



大阪道頓堀の「グリコ看板」 左；昼間 右；夜間ネオン点灯時

【ご参考①】 これまでのグリコ看板

<p>初代 昭和 10 年～</p>	<p>大阪道頓堀川、戎橋のそばに初めてグリコのネオン塔が立ったのは 1935 年(昭和 10 年)。高さ 33m を誇るネオン塔は、トレードマークのランナーとグリコの文字を 6 色に変化させ、同時に毎分 19 回点滅する花模様で彩ったものでした。当時としては型破りのネオンで、一躍大阪ミナミの名物となりました。</p>	
<p>2 代目 昭和 30 年～</p>	<p>1943 年(昭和 18 年)、戦況が厳しくなり鉄材供出のため撤去されてしまいましたが、戦後の 1955 年(昭和 30 年)、2 代目が再建されました。ネオン塔(高さ 21.75m)は砲弾型の下部に特設ステージ(高さ 5.26m)を持つユニークなもので、そこでは大きな人形のワニ君がピアノをひいたり、人形劇を演じたり、ロカビリー大会を催したりしました。</p>	
<p>3 代目 昭和 38 年～</p>	<p>1963 年(昭和 38 年)には 3 代目にバトンタッチ、噴水ネオン塔になりました。12 トンの水が、トレードマークの中心部にある 150 本の水車状のノズル(高さ 18m、横 8m)から噴き出し、12 色のランプ 400 個がそれを照らして、きれいな虹の模様を描きました。落下した水はまたポンプで上のタンクに戻す仕掛けになっていました。</p>	
<p>4 代目 昭和 47 年～</p>	<p>高さ 17m、横 10.85m で 1972 年(昭和 47 年)に建設しました。バックになっている陸上競技場のトラック部分を点滅させ、トレードマークのランナーに躍動感を持たせたネオンでした。このネオン塔は、日没から午後 11 時までネオンが点灯し、競技場の中央コースからゴールインするランナー姿が川面に映え、看板を背景に記念撮影するほどの名物看板になっていました。隣接するビル改装に伴い 1996 年 1 月 21 日に消灯、その翌日から撤去しました。</p>	
<p>5 代目 平成 10 年～ ※現行</p>	<p>1998 年(平成 10 年)7 月 6 日(月)、4 代目の撤去後、約 2 年半ぶりに再点灯されました。陸上競技場のトラックを走るランナーの背景には、大阪を代表する 4 つの建物(大阪城、海遊館、大阪ドーム、通天閣)が描かれています。また、バックの情景の色が変化することで、朝、昼、夕焼けそして夜と、ランナーが大阪の街を一日かけて走っているような姿を表現しました。 【大きさ】 高さ 20.00m、横幅 10.85m 【ネオン管】総数約 4,460 本、のべ 5100m。全 7 色 【点灯時間】日没 30 分後に点灯、24 時に消灯</p>	

【ご参考②】 指定景観形成物について

2003 年 4 月、「大阪市指定景観形成物」に指定されました。これは、大阪市都市景観条例に定められており、大阪市民が親しみ、誇りともする景観的にも優れた建物などを所有者の同意を得たうえで大阪市長が指定するものです。制度制定後の初の指定では当社ネオンのほか、大阪城天守閣、住吉大社など歴史的建造物を含む 12 の建造物選ばれました。

【ご参考③】 グリコのランナーについて

このランナーは、1922 年の江崎グリコの創業時、つまり、「栄養菓子 グリコ」の創製時に、そのコンセプトに合致するものとして誕生しました。以来、企業理念「おいしさ与健康」を表すシンボルマークとして、90 年以上にわたり親しまれております。陸上選手がゴールインする瞬間の姿をモチーフにしており、商標としての正式名称は“ゴールインマーク”です。